

いとう純一市政だより

いとう純一事務所
〒232-0044
横浜市南区榎町2-51
TEL045-315-3115
FAX045-315-3175
Emai itou@bell.ocn.ne.jp
発行日 2018年8月5日

平成30年市会第2回定例会報告

平成30年市会第2回定例会は5月17日から6月15日の会期で開催されました。人事議案と共に、「横浜市市税条例等の一部改正」「横浜放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正」などが可決しました。議員提出議案は「神

奈川県最低賃金改定等に関する意見書の提出」「教育予算の拡充等に関する意見書の提出」「都市再生機構（UR）賃貸住宅の家賃減免等に関する意見書の提出」などが可決されました。また採択された請願は「教育予算の拡充等を求める意見書の提出方について」でした。

平和フェスティバル2018開催へ

私、いとう純一は、2015年4月に執行された市議会議員選挙で南区から選出されました。そして、「平和を守ること」その言葉の重さを日々大切にしながら、議員活動を続けてきました。今年も「平和フェスティバル2018inよこはま」を実行委員の一員として開催いたします。ぜひ、ご参加いただければと思います。私の平和への強い思いは、議員活動のスタートでもあります。初当選の年、初めての9月の本会議で、以下

の発言（抜粋）を行いました。「私は、選挙公約において市民の命を守ることを基本姿勢に位置づけ、市民の皆様に訴えてまいりました。～この猛暑の中で戦後70年という大きな節目を迎えることになりました。私は1972年生まれであり、戦争を知らない世代です。戦後生まれの方々が大半を占める現在、残念ですが、悲惨かつ苦難に強いられた戦争の記憶は風化しつつあります。～70年前の1945年5月



29日、横浜の中心街が米軍のB29爆撃機などによる焼夷弾や機銃の攻撃により壊滅的な打撃を受けました。～およそ8000人から1万人の尊い命が犠牲となったと言われていています。この空襲は後に横浜大空襲と呼ばれることとなります。～南区にお住まいの方の当時の悲惨な状況をつづった手記の中に、戦争は全てを奪うという記載がありました。～戦争の記憶が薄れ風化しつつある現在、この横浜にもそのような悲惨な出来事が

あったことを市民の皆様語り継いでいくことは大変重要なことだと考えます。そして、数知れぬ多くの横浜市民の皆様の大変な御苦労、御努力の上により戦後の困難な時期を乗り越えることができたこと、そして今の横浜があることを決して忘れてはならないと思いを強くしているところです。私は、今後の議員活動において、市民の命を守ることを基本に据えた取り組みを進めてまいります」

平和フェスティバル2018inよこはま

時 9月2日（日）14時～16時
所 横浜市南公会堂（南区総合庁舎3F）

第1部「平和の音楽と舞踊のステージ」
第2部「地域から平和を語ろう、つくろう」
講演 柳澤 協二さん（元内閣官房副長官補）
入場整理券 500円（18歳未満無料）

なんでも法律相談（無料）

専門の弁護士が対応いたします。
お気軽に、いとう純一事務所まで
ご連絡ください。

TEL 045-315-3115
FAX 045-315-3175

第196回通常国会を終えて 枝野代表コメントを中心に

7月20日、枝野立憲民主党代表は、衆院本会議で内閣不信任決議の趣旨説明に際し、「カジノや選挙制度改革を災害対応に優先させた、その1点をもっても不信任に値する」と強く発言しました。不信任案は、立憲民主はじめ5党1会派が提出し、枝野代表は2時間43分にわたり趣旨を説明しました。枝野代表は、安倍内閣が不信任に値する理由は枚挙にいとまがないと述べ、その中でも代表的な(1)過労死を増や

すことになる国民の命を危機にさらす高度プロフェッショナル制度を強行(2)カジノ法案を強行(3)アベノミクスの行き詰まり、限界の露呈(4)政治と社会のモラルを崩壊させるモリカケ問題(5)誤魔化し、いい加減な国会答弁の数々、民主主義のはき違え(6)行き詰まる外交と混乱する安全保障政策(7)官僚システムの崩壊を挙げました。不信任案は残念ながら否決されました。

まっとうな政治を取り戻そう！

枝野代表は、その後の会見で、今国会を振り返り、「カジノ法案(カジノを含む統合型リゾート実施法案)も成立をしてしまった。人の命に関わる『高度プロフェッショナル制度』の導入を含む働き方改革関連法案や、党利党略の参院の定数増の公職選挙法改正案など、残念ながら、何としても止めたいと思っていた法律のいくつかを止めることができなかった」と述べる一方、「安倍1強と言われる状況の中で、裁量労働制の拡大を止めたこと、あるいは1年にわたって国会、国民をだましてきた公文書の改ざんや日報の隠ぺいなど、真実を国民の前に明らかにするという大きな成果を上げることができた。ここで積み重ねてきた成果をしっかりと活かし、さらに安倍内閣の問題点を国民の皆さんにしっかりと伝

えていくこと、今年の総選挙で示した、われわれの目指す日本の将来像をより分かりやすく伝えていくことによって国民の皆さんの大きな理解を得て、支持を広げていける自信を持つことができた国会だった」と手応えを示しました。

また国会での野党連携については、「意見の違いがあるから政党が違うわけであり、連携をしていく上でさまざまな行き違いがあるのは当然だと思っている。そうしたなか、5党1会派で『安倍内閣をこのまま続けさせてはいけない』という強い思いを共有することができた国会だった」と総括。「最悪の安倍政権を倒すため、よりましな状況を作っていくために5党1会派で連携を深めていくことは十分できると確信した」と述べました。



立憲パートナーズ始動！

「立憲パートナーズ」とは、国民と政治家によるプロジェクトです。国民と政治家がパートナーシップを結び、立憲民主党が実現すべき社会に向かってともに議論し、行動するネットワークでもあります。ボトムアップの政治はあなたから始まります。

年会費は500円です。

参加を希望される方は、いとう事務所まで。

☎315-3115 FAX315-3175

